

地 域 と 医 療 で 咲 く コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン

あまが咲

2022
10月
No.101



兵庫県立尼崎総合医療センター
Amagasaki General Medical Center (AGMC)

だより



【診療科紹介】

小児・周産期医療センター
禁煙外来



●【AGMCニュース】VR技術を用いたmediVRカブラ®を導入しました！

●ぶらり〜っと病院探訪 〜薬剤部には漢方調剤室があります〜

●ご寄附のお願い ●不織布マスクの正しい着用について ●患者の権利・義務憲章

小児・周産期医療センター

こどもたちの“今”と“未来” を守り、生きる喜びを支える

市中総合病院として全国有数の規模を持つ小児・周産期医療センターとしての役割を十分に果たすために、この度センターの「こころざし(=存在意義)」を「～未来を生きるこどもたちのために～ こどもたちの“今”と“未来”を守り、生きる喜びを支える」と決めました。

構成メンバー

■診療部(スタッフ医師32名、フェロー・専攻医31名)



「こころざし」を定めたメンバー

(科長、肩書きは2022年4月時点)

[後列・左から]

伊藤 雄介(小児救急集中治療科・小児感染症内科)、
井手 見名子(小児脳神経内科)、
上村 克徳(小児総合診療科)、
西田 吉伸(新生児内科)

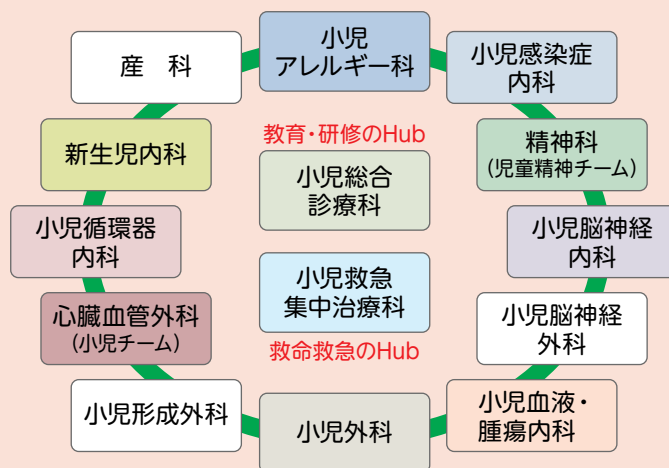
[前列・左から]

宇佐美 郁哉(小児血液・腫瘍内科)、
坂崎 尚徳(小児循環器内科)、
毎原 敏郎(小児・周産期医療センター長)、
高原 賢守(小児アレルギー科)

提供する主な活動内容

当院の小児・周産期医療センターは図のように多くの診療科を備え、院内の関連各科とも円滑な連携を取っています。診療科間の「垣根」が低く、お互いに相談をしやすい関係にあることは、こどもの診療を行う上で大きな利点ですが、メンバーが増えると意見が分かれる場面も生じます。開設時から「こどもの最善の利益を第一に(Child First)」をモットーとしてきましたが、今回は改めてセンターとしての理念を定めて、「診療チームとして今は何をするのが最も適切か」を決める上での指針とします。

小児・周産期医療センター



患者さんや 地域医療機関への メッセージ

当院のルーツは、兵庫県立尼崎病院(1936年に県立西宮懐仁病院尼崎分院として開院)・兵庫県立塚口病院(1953年に県立尼崎病院塚口分院として開院)にあります。小児科の開設は1942年で、今年で80周年を迎えることとなりました。当時の様子をご存知の方は、ぜひお知らせください。



禁煙外来

当院では病院全体で 禁煙に取り組んでいます

喫煙はニコチン依存症であり自分一人で禁煙することは容易ではありません。禁煙外来では禁煙のサポートをするために専門的治療を行います。禁煙治療により喫煙に伴う多くの病気の予防や改善が期待できます。

構成メンバー

清水友規子(循環器内科)、深田武久(呼吸器外科)の2名の医師と7名の看護師が外来を担当していますが、診療部、看護部、薬剤部、検査部、放射線部、総務部といった多職種で構成されたチームで病院全体の禁煙活動に取り組んでいます。



患者さんや 地域医療機関への メッセージ

当院の禁煙外来は毎週木曜日午後、Aブロック循環器外来で行っています。これから禁煙を考えている方、過去に禁煙を失敗された方を含め、お気軽に相談ください。



提供する主な活動内容

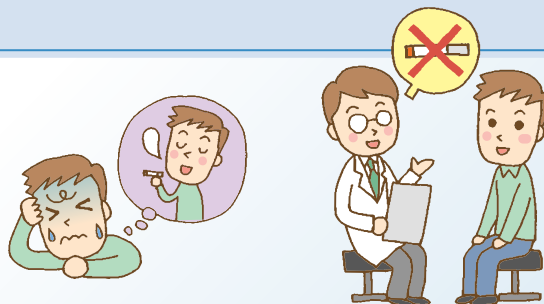


●薬剤治療および面談による禁煙治療

外来ではニコチネルパッチという貼付薬を用いた禁煙治療を行っています。医師による診察前に看護師による面談時間を設けており、薬物治療のみならずニコチン依存症に対する心理的依存、生活習慣についても指導を行っています。

●禁煙対策委員会の活動

当院では敷地内禁煙が義務付けられています。多職種で構成されたチームで月1回のペースで定期的に院内パトロールを行い禁煙の啓蒙活動を行っています。





AGMC ニュース



VR技術を用いた “mediVRカグラ[®]” を導入しました!



▲ mediVRカグラ[®]

近年、ゲームやエンターテインメント分野のイメージが強いVR(Virtual Reality)技術が医療やリハビリテーション領域でも急速に応用されています。神経科学の知見に基づいて開発されたmediVRカグラ[®]はVR空間での運動を患者さん自身の能力に合わせて提供することが可能であり、脳の運動学習がきわめて効率的に進むようデザインされています。

活動内容

私たちはロボットスーツHAL[®]やHONDA歩行アシスト等のロボット技術を用いた先端テクノロジーリハビリテーションを推進しています。新たに導入したmediVRカグラ[®]は、VRゴーグルを装着することでまるで映し出された映像に入り込んだような没入感の高い環境の中でリハビリを行うことが可能となります。患者さんはゲーム感覚で楽しく行えることから、リハビリ効率のアップが期待されています。また座位で使用するため、転倒の危険性が少なく子供から大人まで安全に実施することが可能です。



mediVRカグラ[®]
リハビリテーション
風景



ロボットスーツHAL[®]リハビリテーション風景



HONDA歩行アシストリハビリテーション風景

患者さん、地域医療機関へのメッセージ

先端機器を利用することで患者さんの負担を減らしつつ効果的に運動能力や日常生活能力のアップを行いたいと考えています。当センターで楽しくいきいきとリハビリをしましょう!

ぶらり〜っと 病院探訪



薬剤部には 漢方調剤室があります。

当院では、136種類もの生薬を確保しており、様々な症状に合わせた漢方薬を調合しています。生薬は、草や木、動物や鉱物などの自然原料からできています。

漢方調剤室に、生薬分包機を導入しており、煎じ薬の調製も行っています。あまが咲きだより(令和4年7月号)で紹介されているとおり、当院には漢方内科があり、漢方薬に特化した医師が在籍しています。高い専門性と熟練を要する煎じ薬により、一人ひとりの様々な症状に対してきめ細かく対応しています。対象となる疾患は、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患から関節リウマチをはじめとする膠原病など、幅広い領域において治療することができます。

煎じ薬を扱える公立病院は数えるほどしかありません。気になる症状があれば、ご相談ください。



ご寄附のお願い

当院は、地域の皆様とともに、より地域に開かれた病院づくりを進めていくため、寄附を受け入れております。

皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●寄附の使途

ご寄附の趣旨に沿って、当院の運営のための機器購入や臨床研究、スタッフ育成など、幅広く活用させていただきます。

●寄附のお申し込み・お問合せ先

兵庫県立尼崎総合医療センター 総務部総務課
〒660-8550 尼崎市東難波町2-17-77
TEL.06-6480-7000(代表)



お知らせ掲示板



不織布マスクの正しい着用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外来患者さんをはじめご来院の方には、マスクの着用をお願いしているところです。

入院中の患者さんにつきましても、医学管理上マスク着用が困難と判断した場合を除き、マスクの着用をお願いしております。

なお、ウレタン、布マスクでは著しく感染防護効果が落ちることが知られていますので、入院時には、ウレタン、布マスクではなく、不織布マスクの準備をしていただきますようご理解、ご協力をお願いします。

理念

高度・良質な医療による社会貢献

基本方針

- 阪神地域のの中核病院としての「高度専門・救急医療」
- 患者・医療者、お互いの「納得・安全・チーム医療」
- 救急・紹介を「断らない医療」
- 住民・患者・医療者・福祉・介護・行政が全体で1つの「地域医療」
- 医療水準向上のための「教育・臨床研究・自己研鑽」

患者の権利・義務憲章

患者・医療者共に協力して「患者の権利」と「患者の義務」を尊重し守る

【患者の権利】

1. 公平に医療を受ける権利

社会的な地位、疾病の種類、国籍、宗教などにより差別されることなく、適切な医学水準に基づいた安全かつ効果的な医療を受ける権利

2. 一人の人間として、尊重される権利

各々の人格、価値観が尊重され、患者・医療者が互いに協力して、医療をつくり上げていく権利

3. 納得医療の権利

医療提供者から説明と情報提供を受ける権利／自分の意思で治療方法等を決定する権利／希望しない検査や治療を断る権利

4. セカンドオピニオンの権利

複数の専門医等の意見を求める権利／他の医療機関に変わることもできる権利

5. 診療情報の提供を求め、自分の意見を述べる権利

6. プライバシー保護の権利

診療の過程で得られた個人情報を守られる権利

7. 臨床研究についての権利

目的・危険性について情報提供を受ける権利／参加するかどうかを決める権利／途中で中止を求める権利／参加しなかった場合でも不利益を受けない権利

【患者の義務】

1. 医療者側に情報を知らせる義務、理解できるまで質問する義務

家族の状況、既往歴、病状の変化、現在の症状等を、正確に知らせる義務／医師等の説明で、よく理解できない点を理解できるまで質問する義務

2. 医療に意欲を持って取り組む義務

合意した検査・治療方針に自ら意欲をもって取り組む義務

3. 規則と指示を守る義務

病院内の規則や指示を守り、他の患者に支障を与えない義務



編集後記

ポストコロナに向け徐々に以前の生活に戻る一方、確実に世の中は変わっていていると感じる今日この頃です。

時代が変わっても基本は心身の健康です。私達も皆さんとともに健康づくりのお役に立てるよう日々頑張っていきますので、これからもAGMCをよろしくおねがいします。

今回も最後まで読んでいただきありがとうございました。

(K.M)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <https://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索